

事前にできる地震対策 **室内の備え**

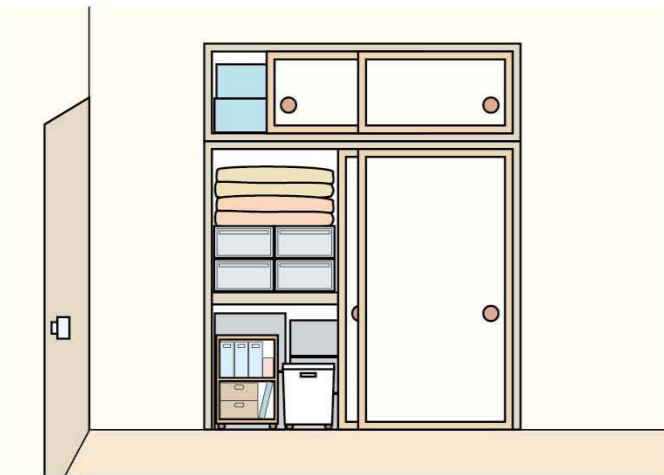
「ケガ」「避難障害」「火災」の「3つの危険」から自分たちの身を守るためには、家具類の転倒・落下・移動を防止する対策が重要です。

家具類の転倒・落下・移動防止 ～ケガ・避難障害の対策～

収納方法の工夫

集中収納

- 納戸やクローゼット、備え付け収納家具にまとめて収納して、生活空間に家具類を置かないようにしましょう。



家具の重心を低くする

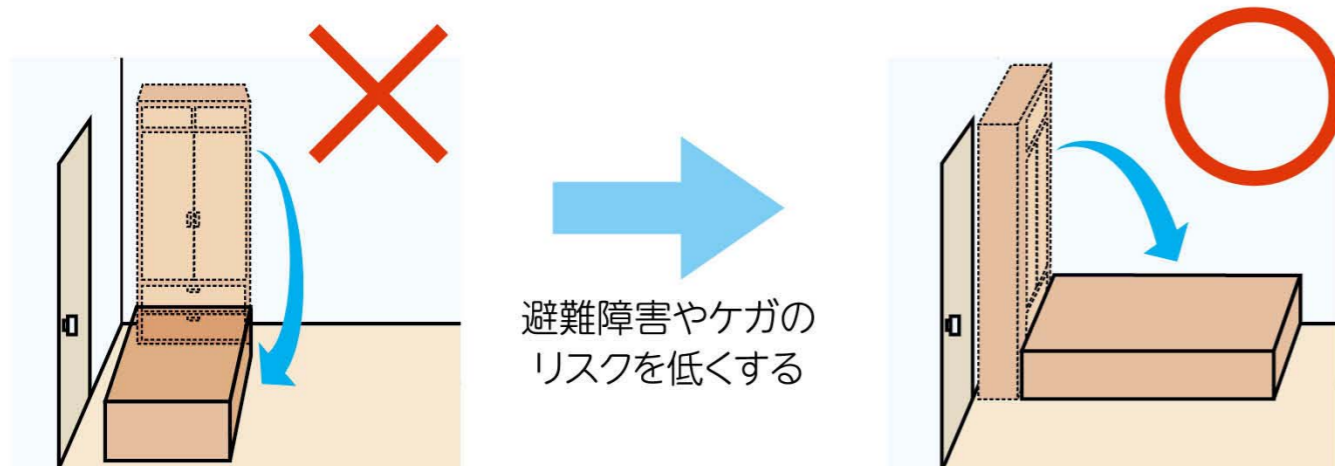
- 棚などに収納する際は、重い物を下に収納して重心を低くすることで、倒れにくくしましょう。



安全な家具の配置

避難通路をふさがない

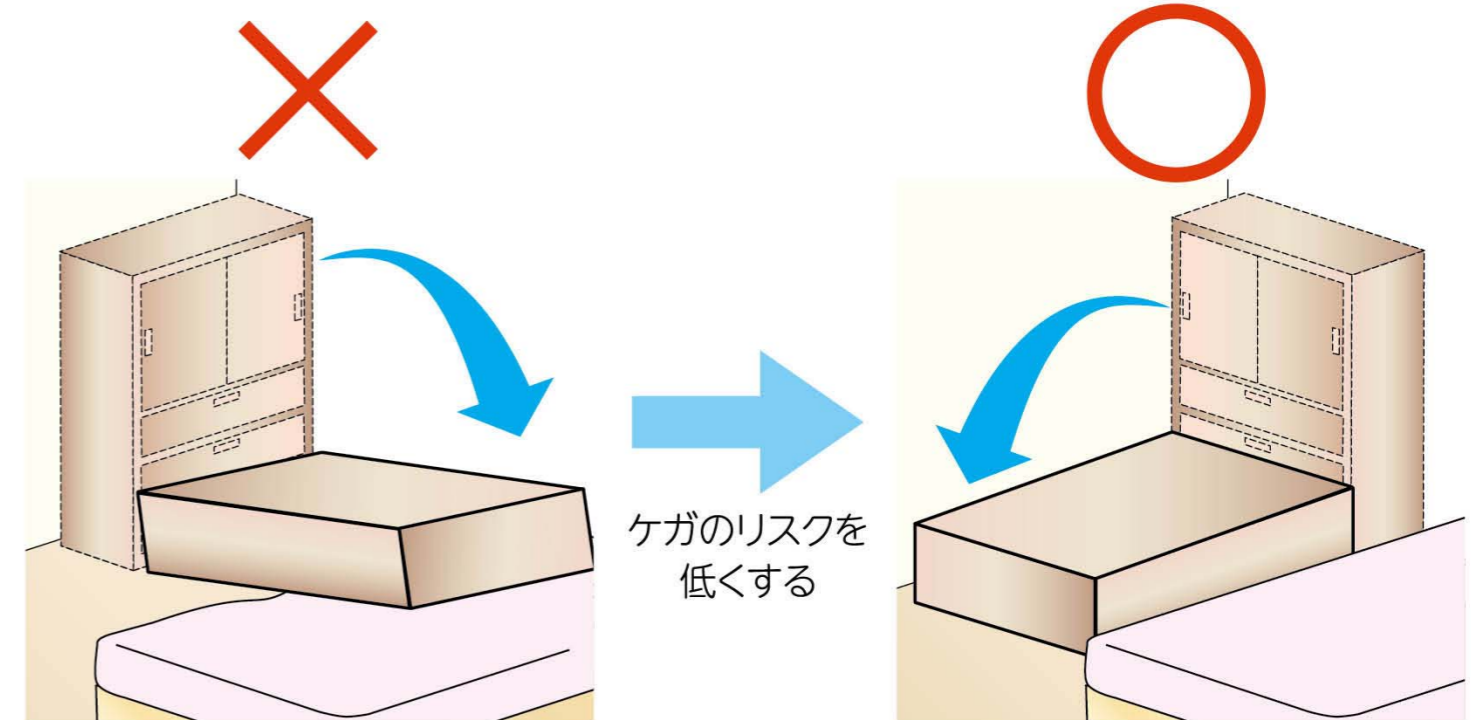
- 倒れた家具によって、ドアが開かなくなったり、つまづいてケガをするなど避難の妨げになることがあるため、廊下や出入口周辺には転倒・移動しやすい家具類は置かないようにしましょう。置く場合は、倒れる位置や方向を考えて配置しましょう。



寝る場所・座る場所に家具を置かない

- 寝室やリビングなどには、なるべく家具を置かないようにしましょう。置く場合は、家具の置き方を工夫するか、背の低い家具にしましょう。

就寝中に家具が倒れてこない配置にする



倒れにくい家具にする

